



特集 売り出せ！させぼの特産品

## させぼのよかもんを全国へ

九十九島や国見山、相浦川など、本市は豊かな自然に恵まれており、本市には、これらに育まれた農水産物や国指定の伝統的工芸品など全国に誇ることができる特産品がたくさんあります。本市ではこれらの「よかもん（良いもの）」をさらに振興し、地域経済の活性化につなげるため、本年度から産地の皆さんと一体となって、さまざまな取り組みを進めています。



伝統の技「みかわち焼」(上)／新緑の香り「世知原茶」(中)／旬の味「九十九島かき」(下)

### 特産品の振興は本市の重点施策

皆さんは、本市の特産品をいくつ知っていますか？ 本市には、海外でも愛用されていた国指定の伝統的工芸品「みかわち焼」や関東地方で高値で取引引きされている「西海みかん」、西海国立公園九十九島の豊かな自然で育まれた「九十九島かき」など、全国に誇ることができる特産品がたくさんあります。また市町村合併により、日本一の生産量を誇る「いりこ」や全国でも珍しい製法の「世知原茶」など特色のある特産品も仲間入りしました。

本市では、こうした農水産業、商工業など幅広い分野にまたがる特産品を一括して所管し、これまで以上に振興していくため、昨年4月に組織を見直し、「企業立地・観光物産振興局」を新設し



第1回させぼ物産戦略推進委員会の様子

ました。同局では、企業立地や観光、物産振興など本市が特に推進している重点施策を担い、物産振興では、地域の活性化を目指し、特産品の販売戦略や生産者の経営・雇用安定につながる事業などを実施しています。

### させぼ物産戦略推進委員会を設置

本市の特産品を振興していくためには「特産品の特色を伝えるパンフレットがないなど、消費者向けのPR・販売促進活動が不足している」「特産品の展示販売施設がない」「新商品開発に対する支援が充実していない」などの課題が指摘されています。

これらの課題を解決するためには、関係する業界や市がこれまで以上に連携を強化して協力し、全市的に取り組みを進めていくことが必要です。そこで本市では、昨年11月、農水産業・商工業・観光業の各団体代表者、流通の専門家、学識経験者などからなる「させぼ物産戦略推進委員会」(山口夕妃子委員長・長崎県立大学准教授)を発足させました。委員会では、重点的に販売促進を行う特産品(戦略産品)の選定や、販売戦略の策定、新規商品の開発などについて検討し、本市へ提言を行っています。



### 戦略産品に「みかわち焼・世知原茶・九十九島かき」を選定

戦略産品の選定に当たっては、公正な審査を行うため、次の3つの基準を設けています(佐世保観光コンベンション協会が推奨しているものや、県がPRしているものは除く)。

- ①地域資源を活用し、生産されるもの
- ②市内に複数の生産事業所が集積し産地として形成されているもの、またその見込みがあるもの
- ③生産量が一定量確保できるもの、またその見込みがあるもの

本年度は、これらすべての基準を満たした「みかわち焼」「世知原茶」「九十九島かき」の3品を戦略産品に選定し、併せて販売戦略も策定しました。現在はその販売戦略に基づき、産地と市が共同でPRに重点を置いた販売促進活動に取り組んでいます。

### させぼ四季彩館とアンテナショップ

本市の特産品を全国に広めていくためには、その魅力をまず市民の皆さんに理解してもらうことが重要です。その第一歩として本市では、市内の特産品を实际に見て、触って、食べることが出来る物産館「させぼ四季彩館」を三川内支所横に11月に開設しました。市民の皆さんに本市の特産品の素晴らしさを感じていただきたいと思っています。

また現在、本市では特産品のアンテナショップを福岡市内に出店する事業を、雲仙市、長崎市と共同で進めています(6ページ参照)。都市圏での消費者ニーズをつかみ、今後の特産品づくりや販売戦略などに生かしていきます。

本紙と同時に「別冊・させぼ物産力タロク」を配布しています。ご一読いただき、ご自宅用、贈答用としてぜひご利用ください。